

愛媛
大學

古典叢刊

13

死靈解脫物語圖書

愛媛
大学
古典
叢刊
13

死靈解脱物語図書

刊行書目（太字既刊）

- | | | |
|----|--------|----------|
| 1 | 伊勢物語 | 実隆筆天福本 |
| 2 | 名女情比 | |
| 3 | 大山祇神社 | 法楽連歌上 |
| 4 | 大山祇神社 | 法楽連歌下 |
| 5 | 金葉和歌集 | 上 伝為家筆本 |
| 6 | 金葉和歌集 | 下 伝為家筆本 |
| 7 | 光源氏歌抄出 | 伝猪苗代兼載筆本 |
| 8 | かなめいし | |
| 9 | つれづれぐさ | 上 |
| 10 | つれづれぐさ | 下 |
| 11 | 古今和歌集 | 伝阿仏尼筆本 |
| 12 | 伊勢物語 | 伝良経筆本 |
| 13 | 死靈解脱物語 | |
| 14 | たかね・花橘 | 坂上羨鳥編 |

死靈解脱物語聞書

昭和四十八年一月一日発行

編者 柳田征司

発行者 愛媛大学 古典叢刊刊行会

印刷所 株式会社 関洋紙店印刷所

松山市湊町七丁目七番地一

790 松山市文京町三

愛媛大学法文学部国語国文学研究室内

発行所 愛媛大学 古典叢刊刊行会

振替・徳島一五三九三

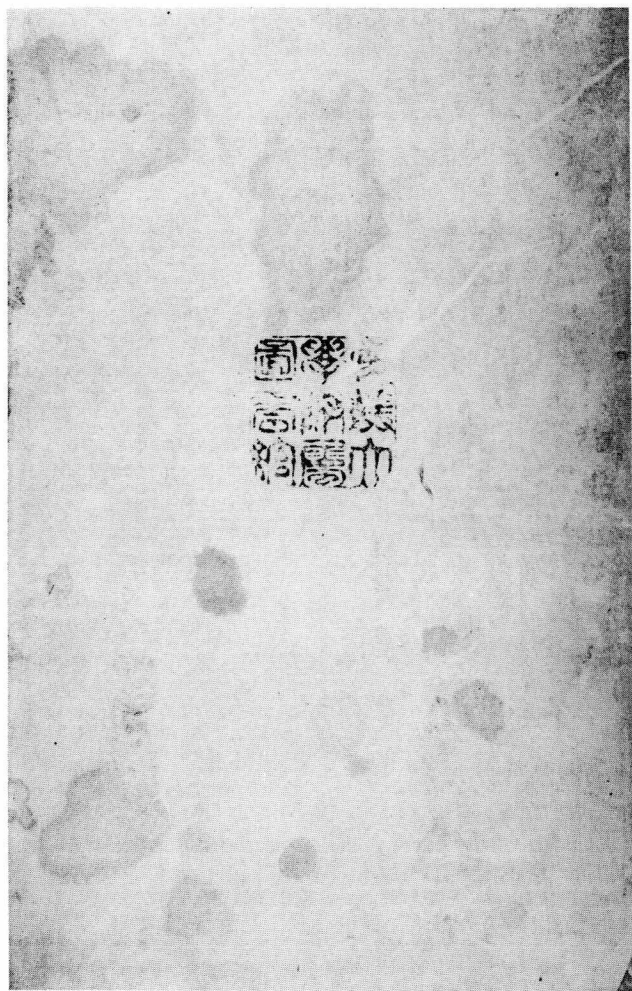
愛媛大学 古典叢刊 13

目次

元禄三年版 本文影印	一
正徳二年版挿画	一四一
影印本文について	一五三
解 説	一五七
要 語 索 引	一八七



上表紙



上見返

あらわしく、福岡縣へあるとむうとささげあへも
女流川岸のふらふら男も終わえさびふ。それひ
あつとふふは、はるあ底の砂浜あつて、眼とつ
けと咽泣ちあ懸らせあさうとたりとたり死
骸といふとわさひ。同村の厚衣家法義寺といふ
菩提所に願ひつゝ、世にありとありと葬り、年ぬ
戒名を姉妹信女と、慶長四年八月と、信と、飯寺
のと、素性といふと、そのと、其の同村に若た一、飯寺
果て、究後の有縁むと、それと、是と、ん、ゆと、いへも
と、ご、か、ら、れ、ん、わ、れ、の、と、あ、う、な、さ、う、と、人、は、う、あ
け、が、あ、つ、て、は、な、さ、う、と、あ、う、と、わ、れ、の、と、い、う、と

わがしらに男とさういふまゝありやう

累かさねが惡靈あくれいをたふしにいんげん入いれる事こと

まより彼の邪見よめみ奴やつとまゐつてゐるわうとてゐる事
とこののまにふめ殺ころしなう累かさねが親類しんれい兄にい才さいば
さうのふれで。此方こちらをさうとせ。彼れが要いふ所ところに
と向むかひ押おし。極きよく度ど度どはたの事こと。彼れと云いふ也なり。前の
み人を何なんとさういふておせり。亦また六む人にん月の女房おんなのむら
は娘むすめ二人ふたりお氣いきさき。さうと云いふと云いふ。娘むすめ三人さんにんの年とし
八月はつがつ中旬ちゅうぐんに其母そのははも終つひに死し去きせり。さういふと云いふ
ちう孫まごと。其母そのははの言ことを二ふた月つきも合あはると云いふ。孫まごと云いふ
ひさくはわとせて。若わ者ものあつたのうと云いふにせん

と云ふ。又、
らど、
果て、
なり、
さや、
通、
お、
息、
相、
ろ、
娘、

六年にお宿川ゆてうへもく。我は新島とひび
こひし責殺しきつやわ。主肉やがそこのまんと
あひらさる。我は入道徳地獄の呵責を遂ては
るにゆふ。我は来りたるあり。此れ我の念
の故に果して出でぬ。今といふ事ある人とり
うるす。そのと我殺くの要なきと次て。年来
耕作の實成じゆふ。他人の田初よりし不
作とあり。今おひかるや否や。我今地獄の中
よりぞこれ脱出せゆふ。我は来り菊がから
たな入替つ。完後の善悪とあり。またわのぶ
くとおのも宿川ゆてせめさるらん。どうぞ。

そてはこれとてんすう村だも交もたら承知とて
俗とてうらな居る者うを法華寺へ遊びし留
を親の如きまじりしうらひとてあひまかれ承
うり其時しも隣家れある男た。字三夜宿と
稱し。一節はわがる集り承るうがじわ申と仍
（交）とてさもわがる不思議のさうなひにさひく
交らんて。故方び方りより承りてとわれ。村
中れ者た。悪くともあつが。而も集り。ある故承
りまじりた。その者た。わのさぬに。成る合。嘆の
罪人も。是より。海さのう。若痛願。側へ。進入り
な。也。も。何村人。あ。わ。く。と。う。む。れ。た。ま。わ。く。も。え

[illegible]

わさせ奉れ實を酒にさんては病者いれさ
いそにまきつとひびしかなど告れとの言
らんてまきつそれか中く病者いれさ
ひ病れれせ病う病又病者の言をいてあぬ
うとすすふさうううと病を捨重あふ。通
く病者なり病者なりとら運なり病にわ
それ。果が病者の病なりと病のあふ
と病なり病者なりとらと病なり病に
あふさ病なり病なりと病なりと病に
とわて。又病者なりと病なりと病に
病に病なり病なりと病なりと病に

[illegible]

治とてつるを。新とて孫と南相の所徳とて
よきとてつる。人々もこれとてつる。やうて人
まんとつる。さうして人々もこれとてつる。やう
ても業れ然とてつる。やうて人々もこれとてつる。
あつたつた。さうして人々もこれとてつる。やう
とてつる。さうして人々もこれとてつる。やう
た道公いふ。さうして人々もこれとてつる。やう
蜀とてつる。さうして人々もこれとてつる。やう

眼生村名とて年々累が君と村と同義なり
衆もあつた。さうして人々もこれとてつる。やう
二人の者年々累の典とてつる。さうして人々も